第 18 回インフォーマルミーティング開催のご案内

日本核医学技術学会関東地方会
会長　　奥野 光男

今年は製薬メーカーから FDG の供給が開始され、PET 普及元年と言えるほど PET 装置の設置施設が増加することが予測されます。その中で SPECT 製剤よりもエネルギーの高い放射線を扱うことで術者の被ばくも大きくなり、放射線防護への取り組みが以前よりもまして重要になっています。

そこで今回のインフォーマルミーティングでは、サイクロトロン設置施設から、FDG デリバリー対応施設まで、PET 検査における医療従事者の被ばく低減の工夫について紹介いたします。FDG 投与から FDG 受診者の接遇など、これから PET または PET/CT の導入を考えている施設の方はもちろん、既存の PET 施設で従事されている方にも参考になればと思います。

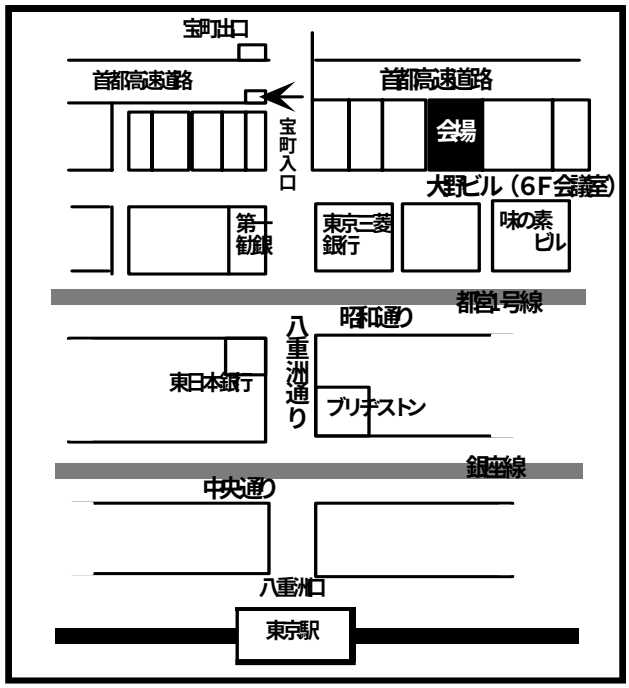
会員、非会員に問わず、お誘い合わせの上、ご参加下さいますよう、ご案内致します。

当会の学術委員は、上原晃（埼玉小児センター）、大下崇（東京慈恵医大第三）、金谷信一（東京女子医大病院）、立木一博（東邦医大大森病院）、近松孝（帝京大学病院中央）、新尾泰男（帝京大学市原病院）、塙 升（東京医大霞ヶ浦病院）の以上7名で構成しています。

ご意見をこの学術委員までお寄せ下さい。詳細なプログラムのご案内はメール等を通じて再度、ご連絡を致します。

尚、核医学専門技術者の認定単位は、5点の加算となります。

記

日時：平成 18 年 1 月13 日（金曜日）18：30～20：30
会場：大野ビル　6F 会議室
東京都中央区京橋 1-19-8
東芝メディカル首都圏支社
電話 03-3562-0211
参加費：1,000 円

問い合わせ：
東京女子医科大学病院　核医学・PET 検査室　　学術担当　金谷信一
tel:03-3353-8112　院内 PHS(29044)
e-mail:skanaya@rad.twmu.ac.jp